

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名： 株式会社パブリックコンサルタント

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		・経営理念や経営目標を社員に時間をかけ説明し、情報共有を図ると共に、やりがいのある職場作りに取り組んでいる。								8	9									17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		・法令遵守については、重要性を全社員に向けて発信している。特に建設業法、独占禁止法の関係法令についてし、透明な事業活動に取り組んでいる。																	16			
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		・入札や見積において、公正な競争を妨害したり不正に関与しないよう、普段から社員へ意識付けを行っている。										10								16		
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		・担当者として代表取締役を任命している。 ・建設業として、現場で起こりうるリスクや環境への影響を把握し、社員へ日々のマネジメントで意識付けを行っている。																		16		
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		・施工に関わる図面や打合せの記録等が外部に漏洩することがないように、社員に向けて周知し、適切に管理している。								8.2 8.3	9									16		
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		・情報の外部への持ち出しについては、会社が認めたUSBのみ使用できることとしている。 ・社員の個人情報は取り扱う社員を限定している。																		16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		・設計・測量において、当事者(施主・施工業者)だけでなく現場周辺の環境に配慮した手法をとっている。 ・地域住民からの要望があれば、説明会を開催し、丁寧に説明している。																		16 17		
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5				8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●												9		11		13.1				16 17		
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●		・後継者候補者を、熊本県技術センター講習会、建設コンサルタント部会へ参加させ、育成に取り組んでいる。									8	9									17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●					1	2					5				8			12	13	14	15	16
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		・社内において差別やハラスメントがないよう、日々のマネジメントで監視している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		・現場での事故ゼロを目指すため、朝礼では詳細に安全作業の手順を周知している。 ・現場では危険を事前に察知して、滑り止めや用具の修理など先手を打って事故防止に努めている。			3					8.8												
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		・同一労働同一賃金の原則に則り、従業員(正社員、パート等)の公正な待遇を行っている。					5.5				8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		・残業時間の管理や有給休暇の取得を奨励している。 ・在宅ワークができる環境を整備し、労働時間の調整ができるように働き方改革に取り組んでいる。(在宅ワーク専用のPCの準備及びリモートワークの導入)				3		5.5		8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		・測量士、RCCMなど必要な資格の取得については、就業時間内の学習や経費面で支援している。 ・技術職においては、資格手当として給与に反映している。					4	5.5		8	9											
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上に取り組んでいる。	●		・毎年1回の健康診断には経費補助をし、必ず受診するように管理している。				3				8											17	
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		・人材不況の中、高齢者の継続雇用に取り組んでいる。今後女性の雇用にも期待しており、採用に取り組んでいる。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		・働き方改革を兼ねて、申請による直行直帰を推進し効率的な仕事の進め方をしている。				3				8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		・クラウドを活用してインボイス、改正電帳法など法規制に対応している。 ・3Dスキャンソフト、ドローン活用により測量・設計の効率と品質を上げている。									8	9.1		11	12							
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●							3	4			8	9			12							

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社パブリックコンサルタント

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。  
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。  
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		・事業所から排出される廃棄物は免許を持った業者で適切に処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		・請求書をもとにガソリンや電気使用量を管理している。 ・熊本県推奨の「簡易計算シート」でエネルギー使用量を把握している。 ・オフィスは、エアコンの室温管理や照明のLED化により節電に取り組んでいる。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		・「エコアクション21」を取得している。 ・熊本県推奨の「簡易計算シート」でCO2の排出量を管理している。 ・CO2の抑制として、社用車1台をエコカーへの入れ替え、エアコンの室温管理や照明のLED化に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		・設計・測量の際に、竣工後に現地の環境に悪影響を及ぼさないようことを念頭に置いて実施している。 ・事業で排出された廃棄物は分別し、適切に処理を行っている。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		・資材（設計用の用紙）購入においては、無駄が出ないよう必要量を購入したり、使用後はリサイクルに回している。 ・使用済みのトナーやドラム、カートリッジは回収し、リサイクルのために購入業者に返却している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		・事業所では「節水」のために、節水器具（節水コマ）を使用したり、「節水」の張り紙で意識付けしている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		・オフィスで使用する消耗品は、購入する際にグリーン購入商品かどうか判断して決めている。 ・資材（設計用の用紙）購入においては、無駄が出ないよう必要量を購入したり、使用後はリサイクルにまわしている。									9.4		12.4 12.5	13	14	15				
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		・フードドライブ活動に参加している。（イオングループ）	1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・「伐って、使って、植えて、育てる」の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6				9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●															12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●												9.4		11.2		13.1 13.3				
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.17	

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具否的な取組 (※事業者が記載する欄)	主なSDGs (17のゴールと169のターゲット)																			
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		・納品前には、社内の照査技術者による検査を受けている。 ・成品品には報告書を作成し「納品検査」(受注先自治体)を必ず受けている。			3.9						9			12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		・事務所では、お客様のために手すりを設置している。 ・現場においても、通行される地域住民の方に分かりやすい表示(看板、文字の大きさ)、ぬかるみ解消など負担をかけないように配慮している。									9.1	10	11.7								17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15			17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7							12.2	13.1			15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4							8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		・自治会に参加している。 ・県内の自治体からの寄付の要請に応えている。 ※八代市、玉東町、甲佐町10マイルレースなど	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		・防災グッズをオフィスに常備している。 ・社員には会社と自宅のハザードマップを確認し、避難場所を決めるよう周知している。				4								11.5			13.1			16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	・熊本県・熊本市と災害時の出動協定を結んでいる。	1.5		3	4							10.2	11.5				13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9			11	12			13.1			
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	・熊本県測量設計・建設コンサルタンツ協会の紹介により、地元の高校生のインターンシップを、積極的に受け入れ、仕事の理解に繋げている。				4																17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4															17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2																	17